

環境マネジメント

ロジスティードグループでは、以下の4つの方針に基づき、「環境に配慮した事業活動」を推進しています。また、地球温暖化対策については、共同物流やモーダルシフト等のグリーンロジスティクスを強化し、協力会社とも一体となって取り組んでいます。

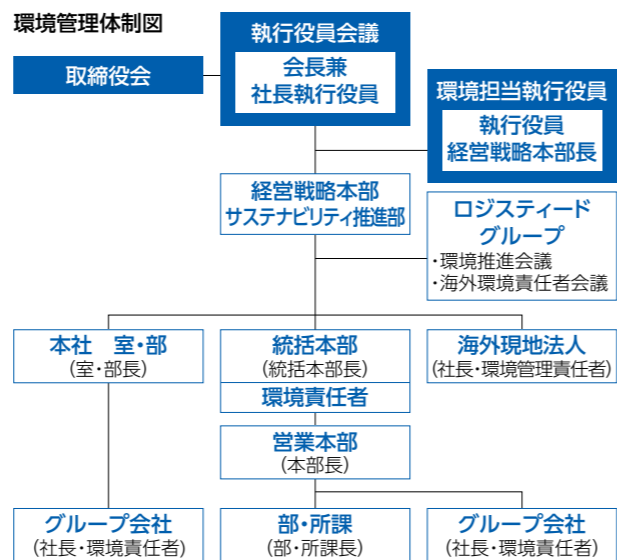
環境方針

- 1 事業所で発生する環境負荷の削減**
電気、燃料、包装材料等の消費抑制、廃棄物の再資源化等
- 2 環境負荷の小さい物流・サービスの提供**
CO₂排出量削減、資源循環による顧客への貢献
- 3 環境意識と環境管理のレベル向上**
グローバルな環境意識向上と関連法規、会社規則の遵守
- 4 自然との共生と環境コミュニケーション促進**
生物多様性・生態系保全と顧客・地域との環境協調

環境管理体制

1992年8月に環境専任部署を本社に設置して以来、環境負荷低減を進め、現在は「環境に配慮した事業運営」に向け、ロジスティードグループで一体となった活動をグローバルに展開しています。

環境担当の執行役員を責任者とする本社経営戦略本部サステナビリティ推進部が、取締役会および執行役員会議の監督のもと、環境経営全般の実務の責任を負うとともに、グループ全体を統括しています。



環境マネジメントの強化

当社グループでは、管理システムを活用して実績データの把握および監視活動を行っています。また、海外においては重要な環境法令の調査を行い、環境負荷管理、遵法確保等に努めています。

● 環境会議の開催

国内外で環境情報を共有し、環境意識と管理レベルの向上に努めています。

環境会議開催数 (2023年度)

国内：環境推進会議 **2**回

海外：環境責任者会議 **2**回

● 社内環境監査の実施

環境コンプライアンス違反の未然防止や早期是正、管理レベルの向上を目的として、社内監査を実施しています。

社内環境監査実施拠点数 (国内:2023年度)

129 拠点

環境意識の向上

従業員の環境意識のさらなる向上を図るため、地球温暖化防止や資源循環、生態系保全などについての環境eラーニングを国内従業員に向け実施しています。2023年度は、世界的な潮流を踏まえ「ネイチャーポジティブ」をテーマに、対象を海外現地法人にも拡大し、教育を実施しました。

また、各グループ会社独自のVC活動(改善活動)で検討・実施した各施策の中で優れた取り組みを表彰する「VCアワード環境賞」も引き続き開催しました。

● 海外との連携強化

海外も含めたグループ全体での環境負荷低減に向け、海外拠点との連携強化に取り組んでいます。2023年度は、海外現地法人も各国の事情に応じた環境行動計画を設定しました。

● 第三者認証への取り組み

第三者認証の取得を進めており、現在、サステナビリティ推進部では「エコステージ」の認証を取得しています。2017年度より、ISO14001と同水準である「エコステージ2」へと認証レベルを向上させ維持しています。

また、国内においては管理システムの入力精度向上のため、マニュアルの更新とオンライン教育を実施しました。

環境eラーニング受講率 (国内:2023年度)

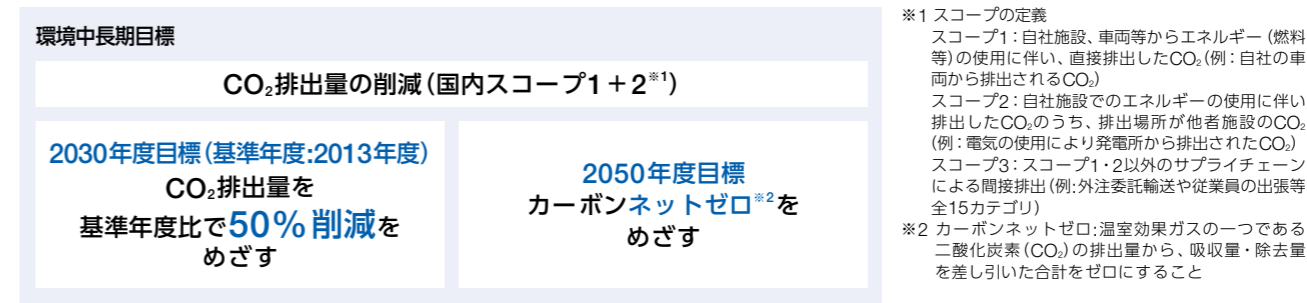
89%

管理システム オンライン教育 (国内:2023年度)

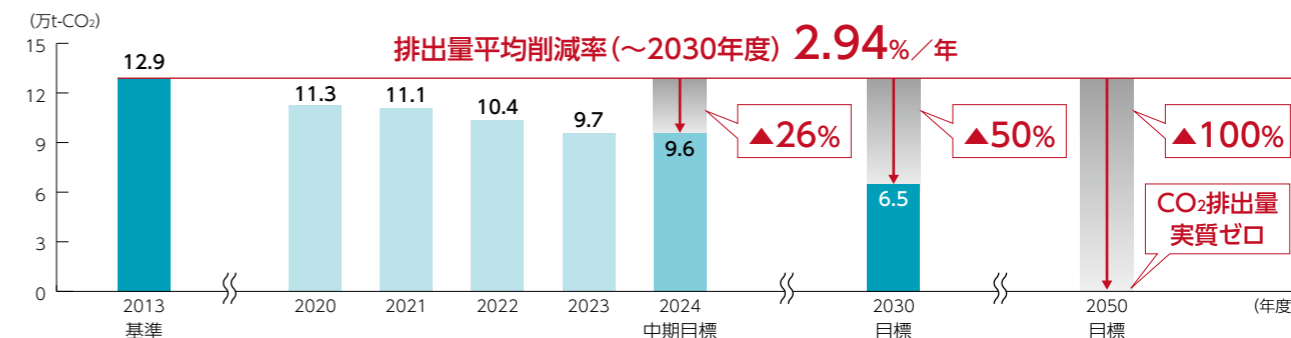
延べ参加人数 **657**人

環境中長期目標2030 / 2050

ロジスティードグループは、持続可能な社会の実現に貢献するため、2020年度に環境中長期目標2030 / 2050を策定し、CO₂排出量削減に取り組んでいます。世界的に脱炭素社会の実現に向けた動きが一層加速する中、当社グループは2020年度に策定した環境中長期目標2030 / 2050を、2021年度より意欲的な目標に見直しました。



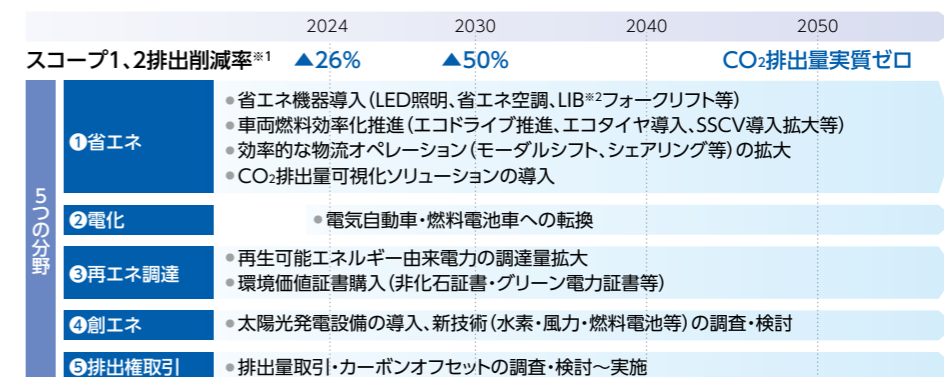
ロジスティードグループのCO₂排出量^{*}の推移 ※スコープ1およびスコープ2の合計 対象範囲: ロジスティード、国内グループ会社



● CO₂排出量削減に向けた取り組み

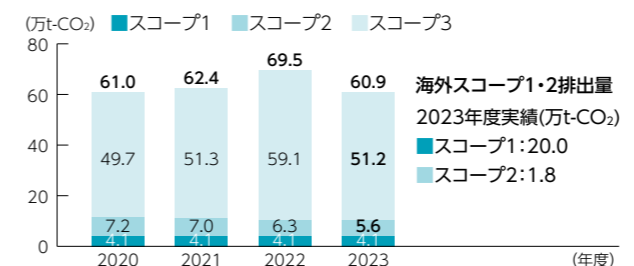
当社グループでは、環境中長期目標の達成に向けて脱炭素推進プロジェクトを立ち上げ、5つの分野の取り組みを積極的に進めています。

※1 2013年度比
※2 LIB (Lithium-ion battery): リチウムイオン電池



● サプライチェーン全体でのCO₂排出量

サプライチェーン全体のCO₂排出量を把握し今後の削減につなげるため、2017年度から「スコープ3」についても算出しています。



対象範囲: ロジスティード、国内グループ会社

● CO₂排出量データの第三者保証取得

ロジスティードグループは、2022年度の温室効果ガス(GHG)排出量について、2023年度に、保証機関LRQAリミテッドの審査によるISO14064-3:2019を基準とした第三者保証を取得しました。今後も、第三者保証を受けることで算出値の信頼性を確保するとともに、「スコープ3」への対象範囲拡大に取り組んでいきます。

環境情報に関する詳細はWebサイトをご参照ください
<https://www.logisteed.com/jp/profile/csr/environment/>

スコープ3のCO₂排出量の内訳はWebサイトをご参照ください
<https://www.logisteed.com/jp/profile/csr/environment/activity.html>